

【ACKグループ 18年9月期 売上高450億円目指す 15年9月期は期初上回る】



ACKグループは28日、中期経営計画「ACKG2013強化」に基づく第11期（2016年9月期）3カ年経営計画を発表した。18年9月期の連結業績目標は売上高450億円、営業利益15億円、営業利益率3・3%を目指す。

18年9月期 売上高450億円目指す

15年9月期は期初上回る

ACKグループ

成果目標値は、重点化事業受注高が14年9月期比1・3倍以上と定めた。人材の確保・育成は、16年9月期からの3カ年累計で、社員が270人増、女性社員が60人増、グローバル人材が110人増、女性管理職が10人増、有資格者（技術士170人増、博士20人増）を計画している（いずれも14年9月期末比）。中期経営計画に基づく20年9月期の連結業績目標値、成果目標値と、16年9月期の経営計画に変更はない。

同グループは18日、「第10期ACKグループ戦略会議」を開き、グループ各社の社長、経営幹部に加え、次世代の経営幹部候補社員でつくる経営

計画策定・推進検討会の委員が参加。16年9月期と3カ年経営計画を共有した「写真」。

また、15年9月期の業績見込みの詳細として、受注高は海外が好調であることを要因に、期初計画を上回る見込みであることを報告した。

さらに中計で定めた3つの強化方針（個の強化、連携の強化、3軸市場の競争力強化）を一層推し進めるために、「連携と共有」をテーマとし、グループ各社が重点化プロジェクトを協働して実施する「重点化事業（企業）連携」、グループ各社が地域単位で協働する「地域（日常）連携」などの連携施策と、既に連携の成果を上げたプロジェクトの事例を発表した。

【ACKグループ 第10期戦略会議開く 来期以降の経営計画共有】

第10期戦略会議開く

来期以降の経営計画共有

ACKグループ

ACKグループは18日、第10期ACKグループ戦略会議を開催した。II写真。グループ各社の社長、経営幹部、次世代の経営幹部候補社員で構成する経営計画策定・推進検討会の委員が参加し、「中期経営計画ACKG2013強化」に基づいて策定した、ACKグループとグループ各社の来期以降の経営計画である

「第11期及び3カ年経営計画」の共有を行った。

同会議では、まず、第10期の業績が目標を達成する見込みであること、市場環境に大きな変化がないことなどから、「中期経営計画ACKG2013強化」で掲げた、2020年に向けた業績および成果目標を変更しない（継続すること）を説明し、グループ各社の社長、経営

幹部等と共有した。

続いて、第10期の業績（見込み）の詳細として、海外での好調な受注を要因に、受注高が期首計画を上回る見込みであることなどを報告し、「ACKグループ第11期及び3カ年経営計画」の内容を説明、グループ各社の社長、経営幹部等と共有した。

第11期（16年9月期）経営計画では、通期目標として売上高400億円などを掲げている。

そのほか、「中期経営計画ACKG2013強化」で定めた3つの強化方針を一層推進するために、「連携と共有」をテーマにグループ各社が重点化プロジェクトを協働して実施する「重点化事業（企業）連携」、グループ各

社が地域単位で協働する「地域（日常）連携」などの連携施策と、既に連携の成果を挙げたプロジェクトの事例について発表を行った。

最後に、経営計画策定・推進検討会の委員が、「中期経営計画ACKG2013強化」の伝道・推進役として、第10期活動報告と第11期活動計画および宣言を行った。

